

## 第6次玉村町総合計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

■意見の募集期間：令和2年8月3日～9月2日

■提出があった意見：1人 18件

番号	提出頂いた意見の概要	町の考え方
1	<p>計画（素案）全体について</p> <p>① 本計画の達成責任は、誰が誰に負うのか。</p>	<p>①本計画の作成責任者は町長です。</p> <p>総合計画は玉村町自治基本条例の「まちづくりの基本原則」に基づき、策定をしております。基本原則では、「住民、議会、町は協働してまちづくりの基本理念、基本目標の実現に努める」としております。本計画は、まちづくりの基本方針を定め、住民、議会、町が共通の目標に向かって共に進めていくことを明記した、住民と共により良いまちづくりを目指すための計画です。</p>
2	<p>計画（素案）全体について</p> <p>①本計画が達成できなかった場合、どうなるのか。</p>	<p>①目標達成にはレベルがあり、より高い次元（多くの人々に「暮らすなら、ここがいい」を感じてもらおう）で達成したいと考えています。3年に1度、町民満足度を調査し、満足度の低い施策について個別計画を見直していきます。</p>

3	<p>計画（素案）全体について</p> <p>①「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の関係について。また、関連性について、総合計画でわかるようにできないか。</p>	<p>①総合計画は町の最上位計画であり、多くの個別計画を総括するものです。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は地方創生や人口減少社会への対応について計画した個別計画です。</p> <p>総合計画で設定した町の目標を達成する手段として、関連する計画目標に紐づけられております。</p>
4	<p>計画（素案）全体について</p> <p>①総合計画の策定にあたり策定アドバイザーの意見はどの程度入っているのか。</p>	<p>① 今回策定の総合計画は、コンサルタント会社を入れず、町の策定委員会において自前で策定を行っております。自由な発想で町独自の計画を策定しているため、まちづくりの調査・研究を行っている識者の方（策定アドバイザー）に策定の段階で必要な助言・アドバイスをいただいております。</p> <p>取り入れたものとしては、策定アドバイザーが提唱する「総合行政的テーマ（多様化する1つの課題に対し、複数の視点で総合的に問題を解決する）」を計画の構成に取り入れ、職員研修で職員へ周知を行いました。</p>
5	<p>計画（素案）全体について</p> <p>①今回実施した職員研修 1.フューチャーミーティング 2.職員ワークショップ は、バックキャスト思考ではないと思われる。</p>	<p>①本計画の基本構想と基本計画はバックキャスト思考で策定しております。ご指摘の町民ニーズの把握で実施した「フューチャーミーティング」や「職員研修」ではフォアキャスト思考で現状から課題を探りましたが、「未来を担うみんなの声」「集めようみんなの声」ではバックキャスト思考で分析を行いました。</p>

6	<p>P6～「社会情勢と町の状況分析」について</p> <p>①第2章で「社会情勢と町の状況分析」をしているが、その結果を何に使っているかが不明。体裁を整えているだけに見える。</p> <p><b>【提言】</b></p> <p>SWOT分析を取り入れてはどうか？</p>	<p>①「社会情勢と町の状況分析」では、広い視野でみる世界や日本の社会動向から受ける町民への影響や狭い視野でみる町の現状や未来の推計値から想定される町民への影響について分析し、「今後対策を打たない場合に進む町の未来想定」と「実現したい町の未来想定」とのギャップを探る手段として行いました。</p> <p>なお、<b>SWOT</b>分析については若手職員による「フューチャーミーティング」の中で外部環境を加味し、町の強み、弱みを分析した上で、町の将来について考えるワークショップを行いました。</p>
7	<p>計画（素案）全体について</p> <p>①第2章「社会情勢と町の状況分析」と第3章「町民ニーズの把握」が第2部「基本構想」につながっているように見えな い。分析結果が第2部につながるようになれば良いと思いま す。</p> <p><b>【提言】</b></p> <p>S S Mのリッチピクチャーという手法があります。</p>	<p>①上記の質問でお答えしたとおり、第2章「社会情勢と町の状況分析」と第3章「町民ニーズの把握」で行った分析結果を踏まえ、基本構想の策定を行いました。具体的には、重点目標①「わざわざから生命と財産をまもる」では、町民からの災害への不安の声や一番に取り組むべき課題として多くの意見をいただきました。また事実、予測不能な自然災害も今後さらに増加すると予測されることから重点目標として設定いたしました。</p>

8	<p>P10 町民の重要度満足度調査について</p> <p>①住民満足度を成果指標とすると、町民に迎合することになる懸念がある。また、価値観が多様化している今、八方美人的に満足度は得られない。ブレイクダウンした項目を優先順位の高いものから実行する計画にしてはどうか？</p>	<p>①ご指摘ありがとうございます。確かに個々の町民が感じる価値観には多様性があり、暮らしのどこに満足を求めるかには違いがあります。しかし、本調査を3年ごとに実施することにより、ここに住む町民の変化を知ることができます。調査結果が良い方向に変化していくことが、町民の満足感の向上につながると考えております。</p> <p>また、本計画で設定した目標は、すべてを網羅するものではなく、調査・分析の結果から町の将来像に対し、優先的に進めるべき目標を設定し、個別計画で優先度の高い順に実行していきます。</p>
9	<p>P5 計画の推進方法について</p> <p>①PDCA サイクルを1年で回したらどうか。</p> <p>②個別計画を1年のPDCAで回すとしたら、指標（数値目標）を設定し、町民にわかるよう達成度を示す必要がある。</p> <p><b>【提言】</b></p> <p>1年毎に指標を数値化し、評価会を実施することをお勧めします。</p>	<p>① 計画の成果を図るには、3年程度の期間が必要と考えています。</p> <p>②本計画では、具体的な施策は明記せず、個別計画により自由に方法・手段を変えていけるものとしております。ご指摘のとおり計画は達成目標を定め進める必要がありますので、個別計画において達成度を正しく設定し、効果（満足度）につながるコンセンサスのある数値目標を設定していきます。</p>
10	<p>P14 職員研修について</p> <p>①職員研修を実施していくことは大変よいことだと思いますので、計画に明記すべきだと思います。</p>	<p>①本計画では、目標につながる個別計画の中身を新たな発想で自由に変え、目標の実現性を高めていく計画構成としております。そのため、計画を策定する職員の政策立案能力を高めるための研修会を毎年実施していくこととしております。</p> <p>職員研修の実施については、P5「4. 計画期間と推進方法」に記載しております。</p>

1 1	<p>P16～18 基本構想について</p> <p>①どのような「思い」があり、将来像を「暮らすなら、ここがいい」と決めたのか。</p> <p>②基本理念を【まもる・つくる・つなぐ】に決めた理由は何か。</p> <p>③この6項目を重点目標に決めた根拠は何か。</p>	<p>①P16に将来像の思いについて記載しております。</p> <p>②将来像「暮らすなら、ここがいい」町にしていくことを町民と共有し、互いに協力し合い進めていくため、町民にも伝わりやすい表現としました。</p> <p>③第2章、第3章の状況分析、町民ニーズを踏まえ、町の将来像「暮らすなら、ここがいい」と町民が実感できる町にしていくために必要な重点的テーマとして6つの目標を設定いたしました。</p>
1 2	<p>P19～ 基本計画について</p> <p>①未来起点型思考フレームで展開した基本計画にできないか。</p>	<p>①本計画の策定にあたっては、未来起点型思考で策定しております。具体的には、将来想定される気候変動、高齢縮小社会、情報技術革新、新型コロナウイルス蔓延などの要因に対するその後の新しい社会、生活様式（ウィズコロナ）等の変化で、社会の常識が変わっていく中、予測が困難な時代と認識し、基本計画では時代が変化してもゆるがない「町民の暮らしをまもる」ことを目標とし、具体的な施策は個別計画で新しい発想を取り入れて変えていける計画としました。</p>
1 3	<p>P19～ 基本計画について</p> <p>①基本計画の各項目（6項目）につながりがない。掲載されている満足度調査の指標で、目標を達成できるとは思えない。</p>	<p>①掲載の満足度調査結果データは、あくまで参考となる主な結果を示しており、目標達成のために設定した指標ではありません。計画の見方やつながりなどわかりづらい点があるため、わかりやすくなるよう見直しを検討します。</p>

1 4	<p>P19～ 基本計画について</p> <p>①マイルストーン（到達したい満足度の数値目標）が無い。これがないとPDCAは回せないと思うが。</p>	<p>①ご指摘の到達点を決める数値目標の設定についてですが、本計画では達成度を図る方法として、町民満足度の向上をあげております。行政の役割は、町民の暮らしが充実することにあります。これに終わりはなく日々向上と継続を重ねていくものと考えます。よって、マイルストーンの設定は、個別計画の施策において設定を行っていきます。</p>
1 5	<p>P19～ 基本計画について</p> <p>①〈未来想定〉〈町民の声〉の環境分析から目標達成の施策は出てきたのか？</p>	<p>①目標を達成するために〈将来想定〉等を加味しながら、今後施策を考え個別計画に反映していきます。</p>
1 6	<p>P19～ 基本計画について</p> <p>①既存の「個別計画」が第6次総合計画の基本計画に位置づけられたが、新たな目標達成のための見直しをするのか。</p> <p>②見直しする場合、基本計画の目標達成のために見直すのか、それとも、町民の満足度を得るために見直すのか。</p>	<p>①本計画で定めた目標を実行する具体的施策は「個別計画」により定め、実行していきます。よって、ご指摘のとおり総合計画の目標に合わせ、「個別計画」の見直しを行います。</p> <p>②「個別計画」の見直しは、基本計画の目標を達成するために行います。目標に近づけていくことが、町民の満足度向上につながると考えます。</p>
1 7	<p>P19～ 基本計画について</p> <p>①この計画では、担当課は何をするのか。</p>	<p>①担当課は、本計画で掲げた目標を達成するための有効な方法や手段を探り、それを個別計画で定めPDCAを回し実行します。</p>

18	<p>P14 職員研修（ワークショップ）について</p> <p>①コーホート変化率法による人口推計から本町の抱える問題を探ることは、適切なテーマだったか？町では「第2期玉村町まちひとしごと創生総合戦略」で合計特殊出生率や人口を増やす施策について策定されているが、職員に周知されていますか？</p>	<p>①「第2期玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は自治体にとって重要な人口減少社会への対応を示した個別計画であるため、全職員がこのことを認識して仕事をしております。</p>
----	--	---